

一貫作業システム現地検討会を開催しました

令和3年10月25日(月)、山形県が森林環境保全整備事業を実施している尾花沢市の蒲ヶ沢国有林で「一貫作業システム現地検討会」を開催しました。

蒲ヶ沢国有林では、今年度、伐採・搬出作業と同時進行で地拵えを行い、後継樹の苗木の植栽も一貫して行う、いわゆる一貫作業を実施していますが、日頃の各機関との情報交換の中で、作業現場の様子等を見てみたいとお話をいただいていたことから、請負事業者である北村山森林組合、(有)緑商の協力を得て、各作業が並行する時期に現地での検討会を開催したものです。

当日は、山形県村山総合支庁森林整備課、山形県森林研究研修センター、森林研究・整備機構森林整備センター山形水源林整備事務所からもご参加いただき、国有林野事業による森林づくりや木材資源の活用的一端をご覧いただきました。

幸い天候にも恵まれ、現地では、現場作業の実態等について多くの意見が交換され、伐採から造林までを一括して行うメリット等について改めて確認・認識することができました。

林業の成長産業化の実現に向けては、様々な取組を進めていく必要があります。国有林を様々な取組を率先して進めて事例(成功も失敗も)を蓄積していくフィールドとしながら、今後もこのような機会を設け、地域の皆さまとの共有、情報・意見交換を積極的に進めていく考えです。

